

鳥取県市町村職員共済組合

鳥取県市町村職員共済組合とは

鳥取県市町村職員共済組合は、鳥取県下市町村の職員とその被扶養者で組織する保険者です。

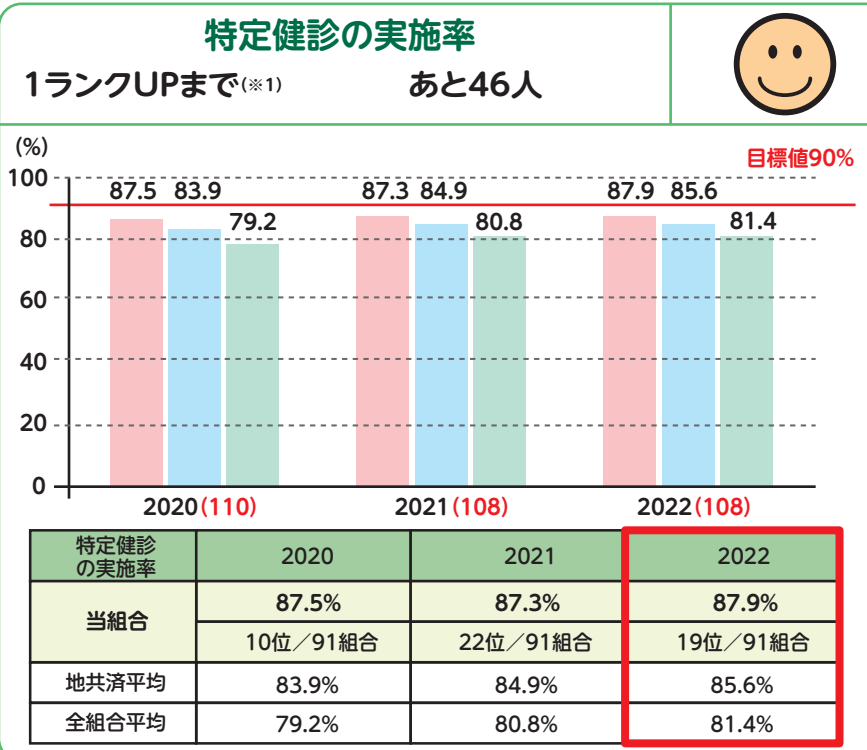
2023年度版(2022年度実績分)健康スコアリングレポート

- 我が国は既に人口減少、超高齢化社会に突入し、深刻化する人手不足に加え、職員の平均年齢の上昇による健康リスクの増大、生産性低下といった構造的課題に直面しています。
- 職員がいつまでも元気で働き続けられる環境づくり、予防・健康づくりなくして、各地方公共団体等における持続的成長の実現は困難です。
- そのためには、共済組合と各地方公共団体等が連携し、一体となって予防・健康づくりの取組みを進める必要があります。
- 本レポートでは、各地方公共団体等と共済組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組み状況や健康状況等を可視化しています。各地方公共団体等の財産である職員等の健康を守るため予防・健康づくりの取組みを行います。

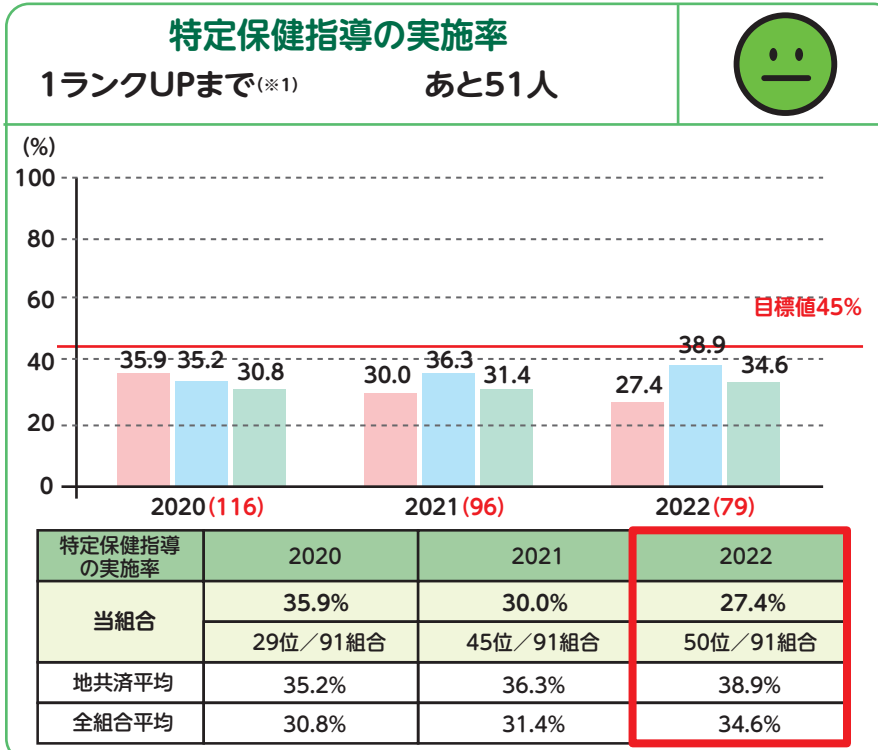
特定健診・特定保健指導



全共済組合順位 47位/91組合



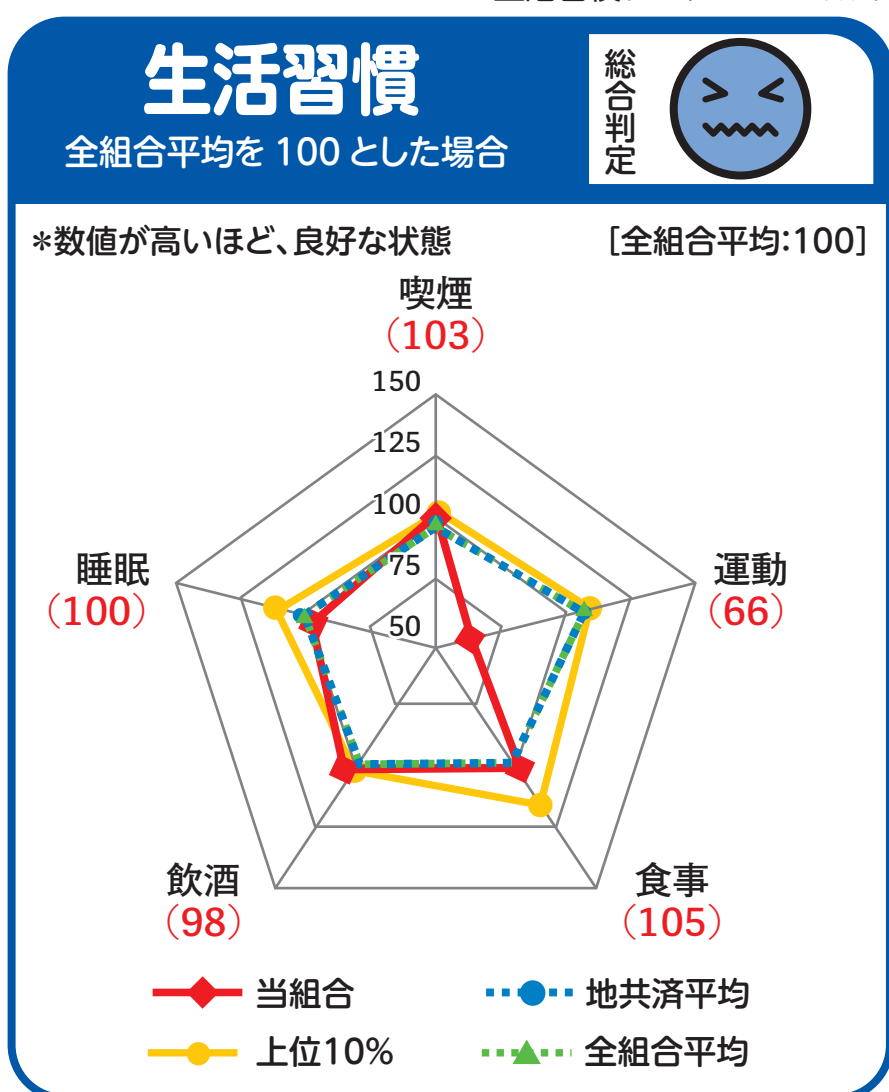
※目標値は、第3期(2018～2023年度)特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標。
※順位は、保険者種別目標の達成率の高い順にランキング。
※()内の数値は、全組合平均を100とした際の組合の相対値。
※(1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(実施人数)を記載。



■ 当組合 ■ 地共済平均 ■ 全組合平均

当組合の生活習慣

※生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。

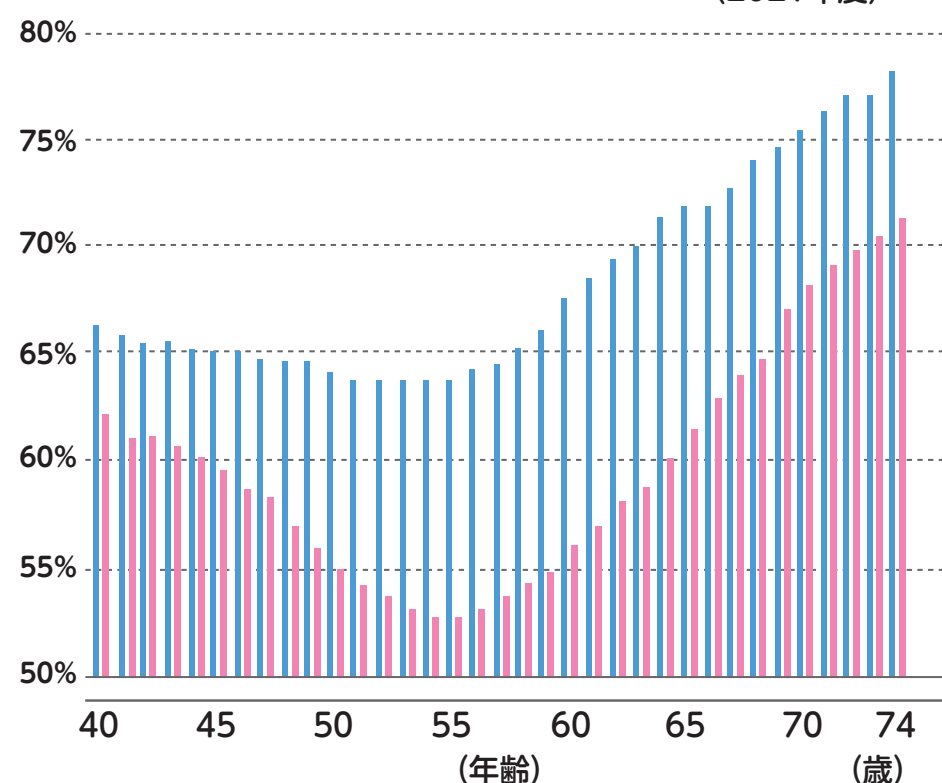


※2022年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

生活習慣の経年変化		2020	2021	2022	ランクUPまで(※1)	
喫煙	当組合	102	102	103		
	地共済平均	101	101	101		
	上位10%	103	101	101		
運動	当組合	66	68	66		あと233人
	地共済平均	100	99	99		
	上位10%	113	104	103		
食事	当組合	102	105	105		あと43人
	地共済平均	100	99	99		
	上位10%	117	117	118		
飲酒	当組合	97	97	98		あと48人
	地共済平均	100	100	100		
	上位10%	103	103	101		
睡眠	当組合	98	97	100		あと85人
	地共済平均	100	100	100		
	上位10%	112	109	111		

※上位10%は全共済組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表す。
※(1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載。

男女・年齢別睡眠で休養が十分とれている者の割合 (2021年度)



【コラム】生活習慣を見直し、

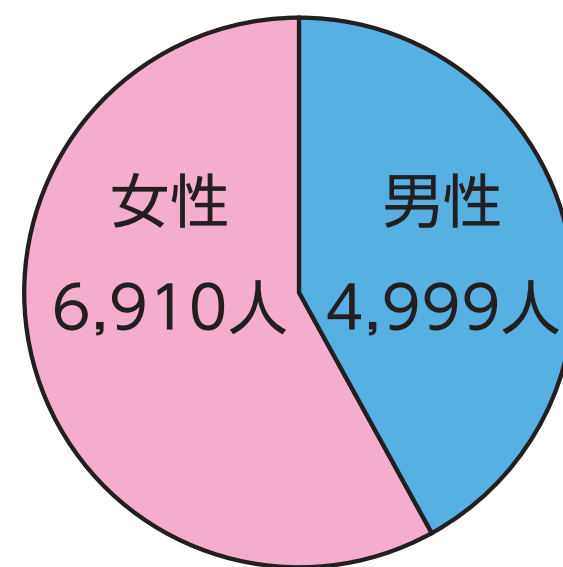
睡眠で休養を十分とりましょう!

特定健診の睡眠に関する質問の結果を男女・年齢別にみると、40代から50代半ばにかけて睡眠で休養が十分とれている者の割合が低下しています。特に女性ではその傾向が顕著に表れており、その低下の程度が大きくなっています。少しでも良い睡眠習慣を身につけられるように、睡眠環境や生活習慣を可能な範囲で見直すように促しましょう。

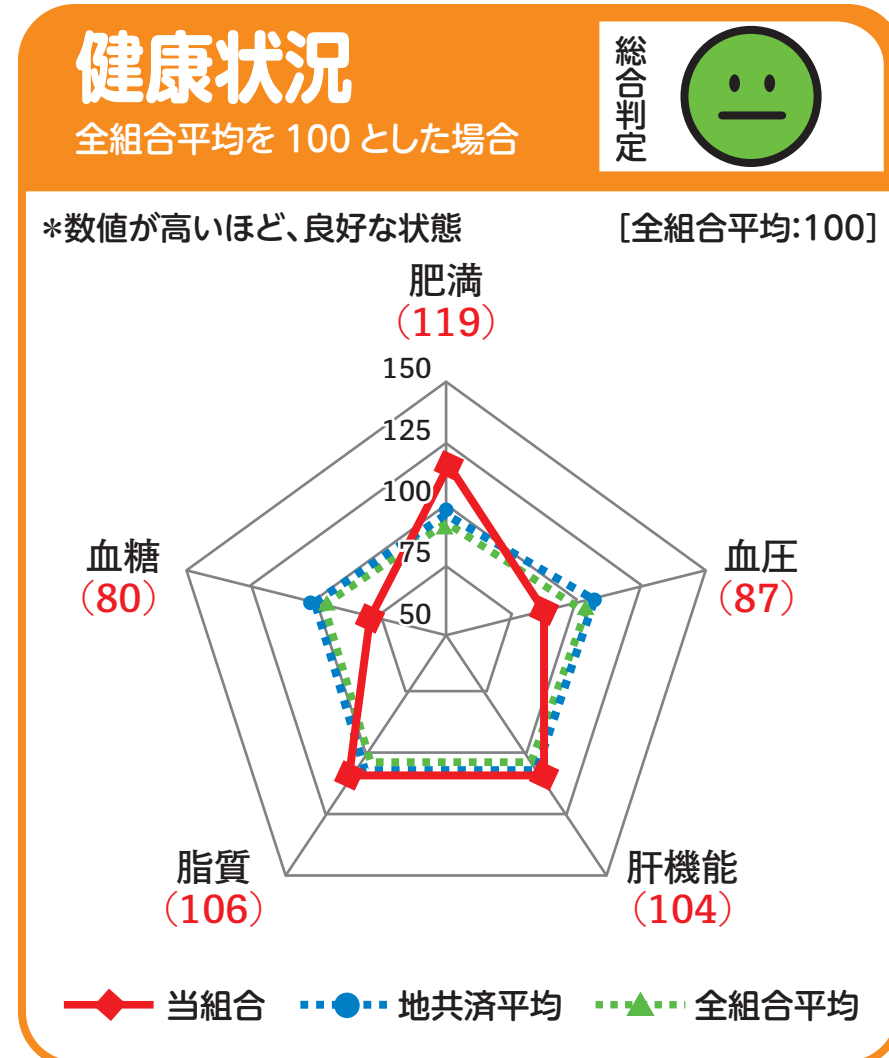
※睡眠に関する質問票の回答がある被保険者のみを対象に算出
※2022年度報告(2021年度実績)データより算出
※睡眠で休養が十分とれている者の割合…特定健診の睡眠に関する質問「睡眠で休養が十分とれている」に「はい」と回答した者の数/特定健診の睡眠に関する質問に回答した者の数

令和5年度末組合員数の状況

組合員数：11,909人
男性：4,999人 女性：6,910人
任意継続組合員：149人
被扶養者数：7,337人



当共済組合の予防・健康づくりの取組み状況と健康状況の概要



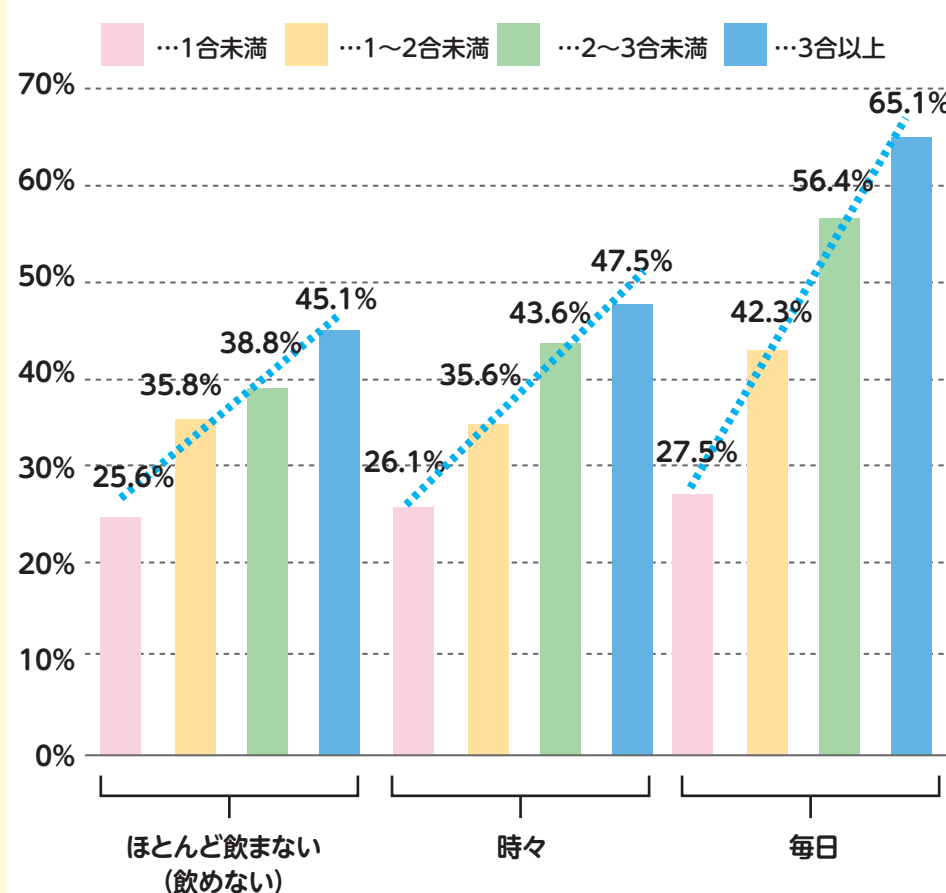
※2022年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

【コラム】適度な飲酒で健康な肝臓を!

飲酒習慣別に肝機能異常症のリスク保有者割合をみると、1回の飲酒量が「1合未満」では、肝機能異常症のリスク保有者割合は飲酒頻度によらずほぼ同程度です。しかしながら、飲酒頻度が同じ場合、1回の飲酒量が多いほど肝機能異常症のリスク保有者割合は高くなり、1回の飲酒量が「1合未満」から「3合以上」に増加すると肝機能異常症のリスク保有者割合は「ほとんど飲まない」「時々」では約1.8倍に、「毎日」では約2.4倍に上昇します。健康な肝臓を保つために、休肝日を作る、飲む量を1合減らす等、適度な飲酒習慣を心掛けるよう促しましょう。

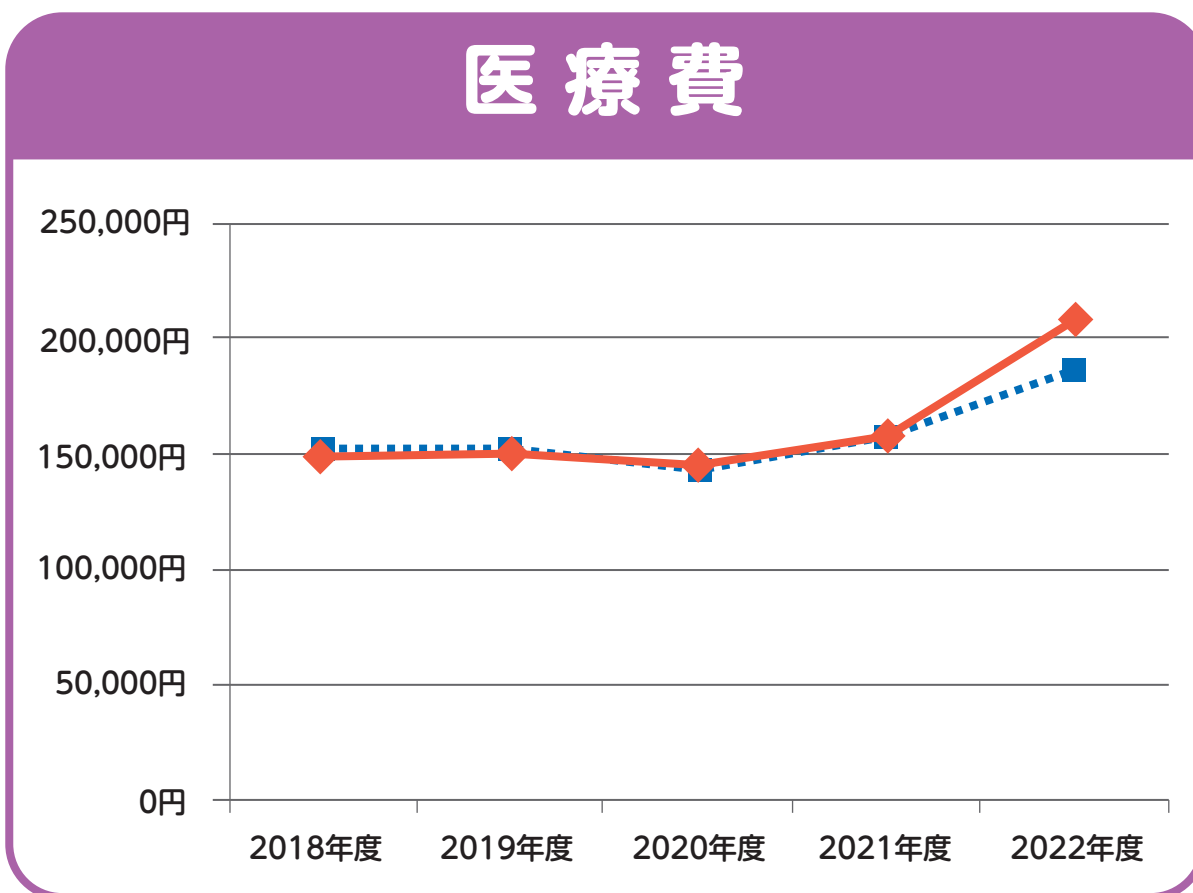
※飲酒状況に関する質問票の全てに回答がある者のみを対象に算出
※2022年度報告(2021年度実績)データより算出
※肝機能異常症のリスク保有者…AST 31U/L以上、ALT 31U/L以上、γ-GTP 51U/L以上のいずれかに該当する者(健康スコアリングレポートと同一の定義)

飲酒習慣別肝機能異常症リスク保有者割合(2021年度)



当共済組合の医療費概要

1人あたり医療費と性・年齢補正後標準医療費の推移



参考:医療費総額(2022年度)

当組合
3,012百万円

1人あたり医療費
性・年齢補正をしていない当組合の総医療費を当組合の加入者数で除した医療費。

性・年齢補正後標準医療費
全組合平均の性・年齢階級別1人あたり医療費を、当組合の性・年齢階級別加入者数に当てはめて算出した1人あたり医療費。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1人あたり医療費	149,309円	151,385円	145,882円	157,903円	208,351円
性・年齢補正後標準医療費	151,686円	153,740円	144,382円	158,323円	185,283円

【当組合の1人あたり医療費(2022年度)】

当組合	性・年齢補正後標準医療費	性・年齢補正後組合差指数(※)
208,351円	185,283円	1.12

参考:当組合の男女別・年代別1人あたり医療費(2022年度)

	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
当組合	193,484円	222,471円	125,835円	164,205円	171,521円	295,489円	663,417円
地共済平均	160,621円	169,718円	97,828円	135,601円	152,050円	224,638円	373,579円
全組合平均	173,008円	197,849円	111,023円	150,446円	168,371円	249,592円	466,718円

※性・年齢補正後組合差指数とは、医療費の組合差を表す指標として、1人あたり医療費について、加入者の性・年齢構成の相違分を補正し、全組合平均を1として指数化したもの。指数が1より高いほど、全組合平均と比較して性・年齢補正後の医療費が高い傾向であることを示す。具体的な算出方法は、参考資料巻末「各指標の算出方法」及び「健康スコアリング活用ガイドライン」を参照。